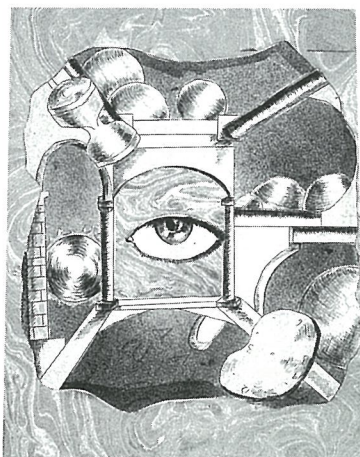




2年4組
遠藤孝之君

※マーブリングやブラッシングがよく活用できたと思います。

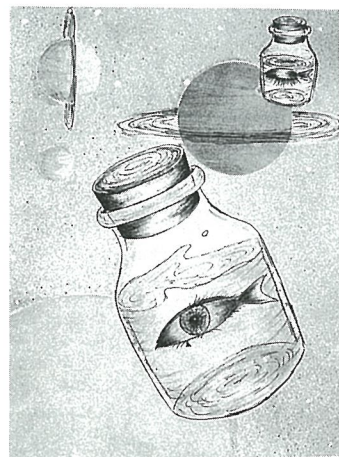


イメージ画『宇宙』

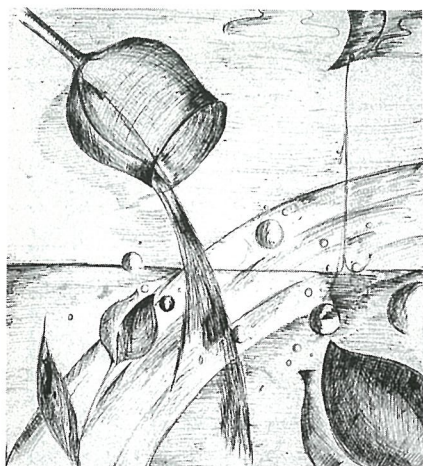


2年3組
渡辺幸枝さん

※全体にスパッタリングをしたので、大変でした。マーブリングが楽しかったです。



イメージ画『未来』



イメージ画『夢』



2年5組
川野貴子さん

※影のつけ方が、うまくいきました。



イメージ画『時間』



2年3組
行方由理子さん

※砂時計のイメージリングが、砂のようにならなくて大変でした。色づかいに、苦労しました。

ひかり俳壇

椎名 静子 (二又)

面を脱ぎ少女に戻るソーダー水
面を外してソーダー水を飲む顔、それは紛れもなく、常の愛娘の顔であった。

秋山 一泉 (栢田)

白萩のこぼるる面の角曲る
雨に耐える白萩の風情は、なぜか哀愁を帯びた佳人に似て心惹かれるものがある。

大谷 武彦 (木戸)

垣根越し呼びとめられぬ萩の花
近代化を急ぐあまり失われつゝある庶民生活の一端を垣間見た思いで心温まる。

伊藤 幸枝 (尾垂六区)

みそ萩の紅濃かりけり昼の庭
炎暑にうだる昼下り、庭のミノハギの紅い花が際立って見え一増けたるさを誘ふ。

鈴木とし子 (宝米)

山裾はどこまで行っても萩の径
萩は萩を代表する草である。中七以下に籠められた作者の哀歎の情が素直に伝わる。

「短評」 椎名 しげる